

No.1 in Japan



令和6酒造年度
全国新酒鑑評会 金賞数 **16** 銘柄

No.1 in Japan



医療用機械器具の部品等出荷額
442億円(2023年)
14年連続全国1位

No.2 in Japan



漆器製台所・食卓用品出荷額
17億円
(2022年)

No.2 in Japan



もも収穫量
29,100トン
(2024年)

No.4 in Japan



温泉地数
125箇所
(2024年)



Fukushima

Brochure

Welcome to Fukushima Japan

ふくしま



ふくしま復興情報ポータルサイト
「ふくしま復興情報ポータルサイト」は、復興関連情報を集約した福島県のポータルサイトです。





Fukushima Today
国際課交流員が海外の視点で福島の魅力を発見し、SNSで情報発信します！





ふくしまの旅
春夏秋冬いつ来ても見どころ満載の福島県。見ているだけで行ってみたいくなるサイトです。



Welcome to Fukushima!

福島県は東北の最も南に位置し、東北の玄関口として首都圏からも近距離です。
また、全国で3番目の広大な県土を有しており、それぞれが特色のある気候風土を有する「会津」「中通り」「浜通り」の三地域に分けられます。
2011年の東日本大震災と原発事故によって被害を受けましたが、復興に向けて着実に歩みを進めています。現在までの復興活動と未来に向けたチャレンジを知り、また、福島県の美味しい食べ物、温泉、自然、伝統文化を感じてください。

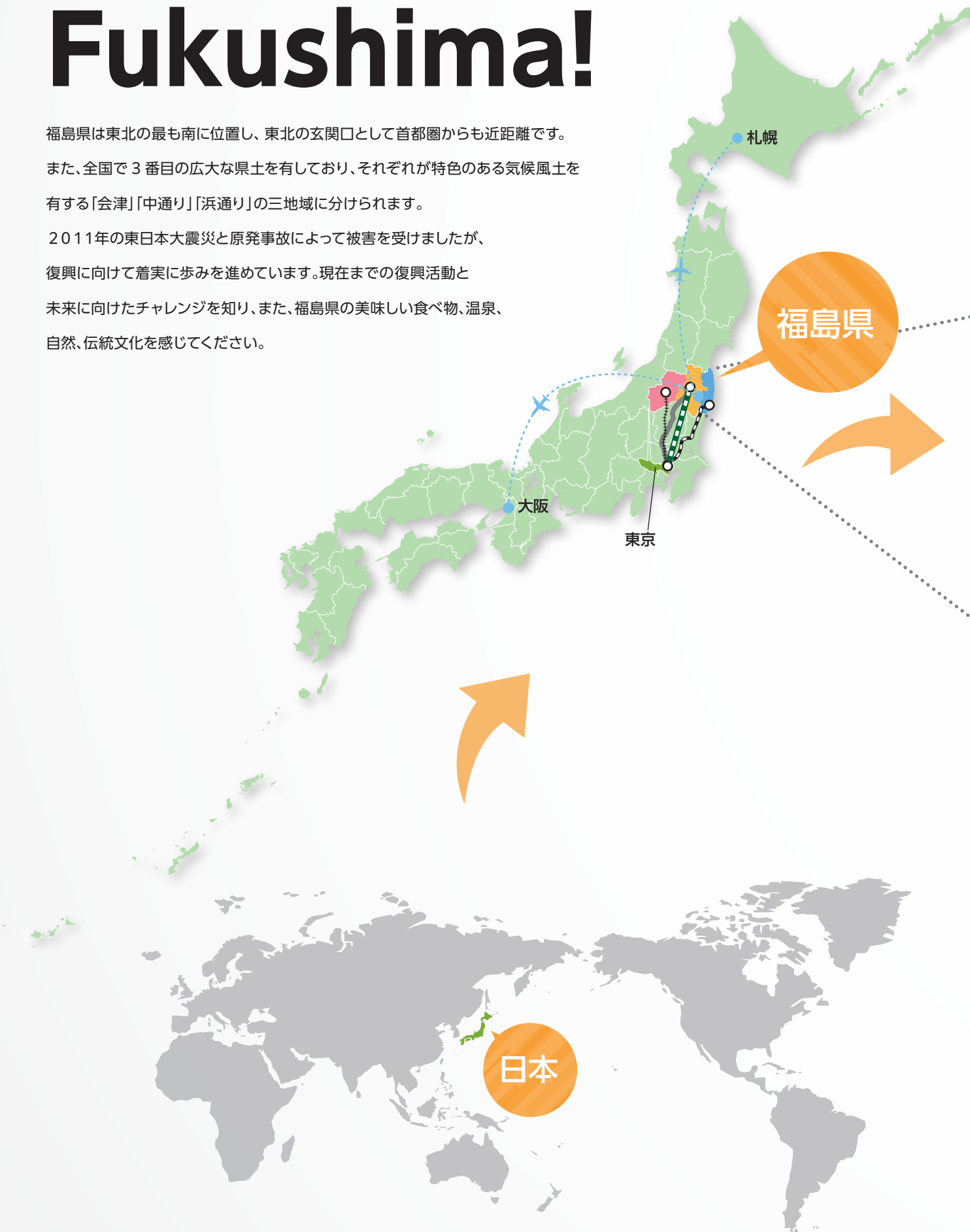
東京から約 **80分**



東北新幹線

- 自動車** 東京：首都高速都心環状線/C1 ▶▶▶ 福島：郡山IC **約3時間**
- 飛行機** 札幌：新千歳空港 ▶▶▶ 福島：福島空港 **約1時間35分**
大阪：伊丹空港 ▶▶▶ 福島：福島空港 **約1時間10分**
- 鉄道** JR東北新幹線 東京：東京駅 ▶▶▶ 福島：郡山駅 **約80分**
JR特急ひたち 東京：東京駅 ▶▶▶ 福島：いわき駅 **約2時間15分**
東武特急リパティ会津 東京：浅草駅 ▶▶▶ 福島：会津田島駅 **約3時間10分**

その他・詳しくはこちら「ふくしまの旅」アクセス



会津

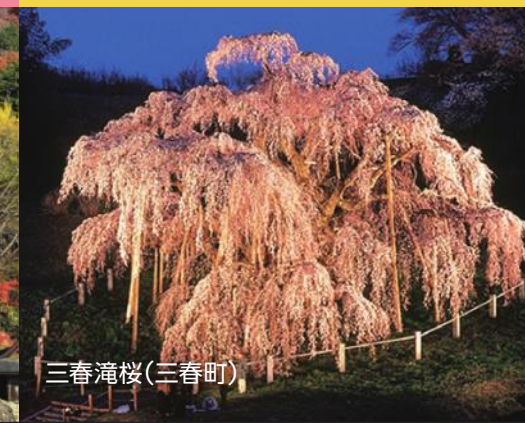
豊かな自然と歴史



福満虚空蔵菩薩圓藏寺(柳津町)

中通り

四季折々の花々と果物および
便利な交通アクセス



三春滝桜(三春町)

浜通り

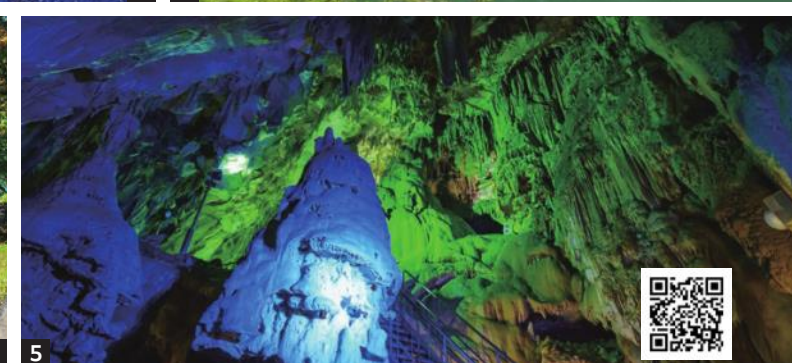
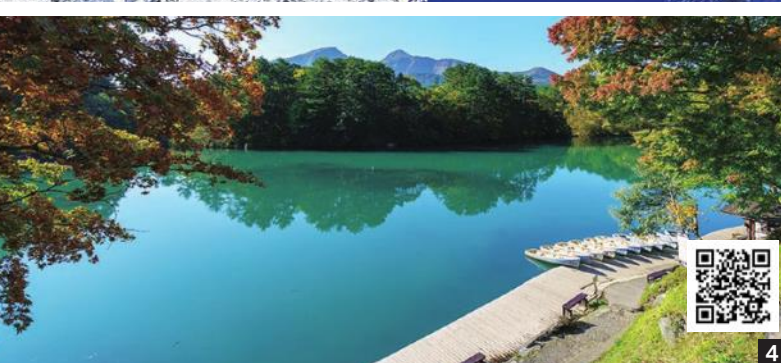
温暖な気候と
歩み続ける復興の地



波立海岸 弁天島(いわき市)

Nature

自然



❶ JR只見線【三島町】

2011年7月の豪雨の被害から2022年に全線運転再開した只見線は、季節ごとの絶景が楽しめる秘境路線です。

❷ 花見山【福島市】

梅や桜などが咲き競う、花の名所。著名な写真家に「桃源郷」と称えられた美しさです。

❸ 塔のへつり【下郷町】

100万年にわたる浸食と風化が生み出した「へつり（断崖や急斜面）」が塔に見える景勝地です。

❹ 五色沼湖沼群【北塩原村】

大小30個ほどのさまざまな色彩をもつ湖沼で、天候や季節などによって彩り豊かな姿を見せます。

❺ あぶくま洞【田村市】

全長4,218.3m、公開部600mの洞内に、多種多様な鍾乳石が数多くある、日本有数の鍾乳洞です。

❻ 相馬野馬追【相馬市、南相馬市】

1000年以上の歴史を持つ祭典で、約400騎の甲冑競馬や神旗争奪戦は壮観で5月の3日間に開催です。

❼ 会津さざえ堂【会津若松市】

国指定重要文化財で、螺旋構造により上りと下りがすれ違うことなく参拝出来る不思議な造りです。

❽ 白水阿弥陀堂【いわき市】

1160年に建てられた国宝建築物。周囲の木々とつくる四季折々の風景が見事です。

❾ 檜枝岐歌舞伎【檜枝岐村】

檜枝岐村民によって江戸時代から280年以上に受け継がれている歌舞伎です。

年3回の興行です。

❿ 大内宿【下郷町】

茅葺屋根の街並みが残る街道沿いの宿場町。国重要伝統的建造物保存区域になっています。

Onsen 温泉



11 会津芦ノ牧温泉【会津若松市】

千年以上の歴史を持つ温泉で、神経痛や眼病に効く四季折々の渓谷美が堪能できる温泉です。

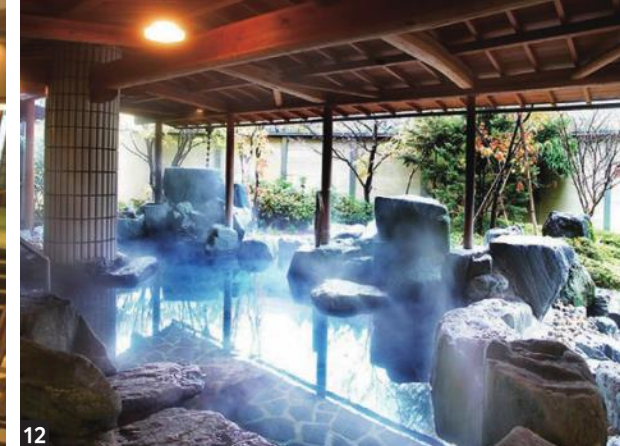
12 磐梯熱海温泉【郡山市】

福島中央部の郡山市にある温泉郷です。肌をツルツルにする「美人湯」として知られています。

13 いわき湯本温泉【いわき市】

美肌作用・高血圧に効くなど数々の効能がある日本の三古泉のひとつです。

福島県温泉
ガイドブック



Food 食



14 もも

7月から9月頃まで、収穫時期によって豊富な品種を味わえます。「あかつき」が有名です。

15 ゆうやけベリー

収穫の時期が早くクリスマスや年末年始を彩る県オリジナルいちごです。甘味が特徴です。

16 ふくしまの野菜と果物

全国有数の生産量を誇るきゅうりやトマトなどのほか、様々な野菜と果物が生産されています。

17 ねぎそば

大内宿名物で、ねぎを箸代わりにして食べます。ねぎをかじれば薬味にもなります。

18 喜多方ラーメン【喜多方市】

日本三大ラーメンの1つ。平打ち熟成多加水麺で、太めの縮れ麺が特徴です。

19 円盤餃子【福島市】

丸い円盤型に焼き上げる円盤餃子は、野菜たっぷりボリューム満点です。

20 常磐もの

黒潮と親潮が出会う潮目の海で水揚げされた多種多様で品質が良くおいしいと評判の魚介類は「常磐もの」と呼ばれます。

21 クリームボックス【郡山市】

パンに、白いミルク風味のクリームをたっぷり塗った郡山市発祥のご当地グルメです。

22 いかにんじん

するめいかと人参の千切りを酒・醤油・みりん等で味付けしたシンプルな郷土料理です。

23 ふくしまの米

米の生産量全国第5位。その中でも県オリジナル品種「福、笑い」は最上級のお米です。



Sake 日本酒



日本酒

福島県は日本酒も美味です。2025年全国新酒鑑評会では、県内16銘柄が金賞を受賞、受賞数日本一となりました。



米がいい、
水がいい、
人がいい。

輸出用清酒製造免許
日本第1号交付蔵
輸出限定日本酒

流觴



ふくしまの酒



酒蔵見学



福島県での酒づくりの歴史は古く創業300年を超える酒蔵も活躍しています。県内には50を超える酒蔵があり、見学できる酒造も沢山あります。
(※見学は各酒蔵に事前予約が必要な場合もあります。英語対応の酒蔵もあります。)

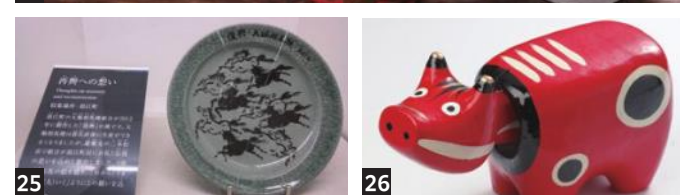


酒蔵見学の可否、電話番号等はこちら

【出典】仙台国税局HP



Crafts 工芸品



24 白河だるま【白河市】

白河市の民芸品で、鶴亀や松竹梅をあしらった縁起物です。

25 大堀相馬焼【浪江町等】

浪江町大堀地区の国伝統的工芸品の焼物で、震災により避難を強いられましたが、浪江町を中心に再建しています。

26 赤べこ【柳津町、会津若松市】

会津の伝統工芸品で、福満虚空蔵堂の赤牛伝説をもとに福を呼ぶ牛として親しまれています。

Experience 体験



27 もも狩り

ぜひ、果樹園で、新鮮な甘い桃を味わってください。中通り地方を中心に、夏に体験できます。

28 赤べこ絵付け

会津地方で、世界にひとつだけの赤べこを旅の思い出に描いてください。

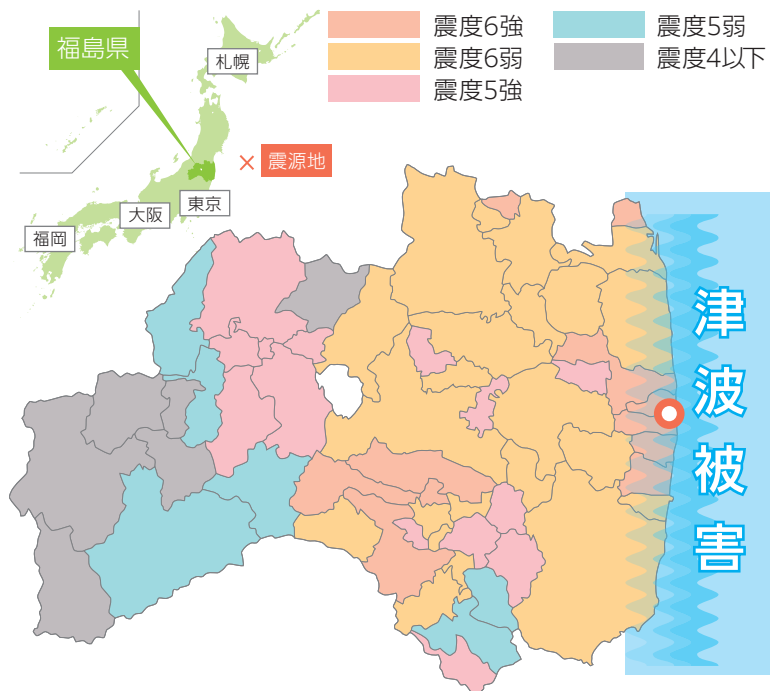
2011年3月11日14:46 東日本大震災 マグニチュード9.0



提供：福島民報社



震源地と県内各地の震度



人的被害

2025年8月1日現在

死者 **4,180人**
うち、震災関連死 **2,349人**^{※1}

※1 震災関連死とは、地震などの直接的な被害によるものではなく、その後の避難生活での体調悪化や過労など間接的な原因で死亡すること。

住家被害棟数合計

2025年8月1日現在

全壊	15,505棟
半壊	84,972棟

震災直後と現在の様子

東日本大震災による揺れや津波は、福島県内各地に大きな被害をもたらしました。ライフラインや交通網が寸断されたほか、建造物などもダメージを受けましたが、現在では各所で復旧工事も進み、ほぼ全てが完了しています。

相馬市

震災直後の様子



現在の様子



広野町

震災直後の様子



現在の様子



いわき市

震災直後の様子



現在の様子



避難者および避難エリアの推移

原子力災害により福島第一原発周辺は、避難指示区域に指定され、居住していた方は県内外への避難を余儀なくされました。また当時、放射線量の問題などさまざまな事情で自主避難された方もいますが、避難指示区域は帰還困難区域以外は解除され、避難地域の復興・再生が着実に進んでいます。

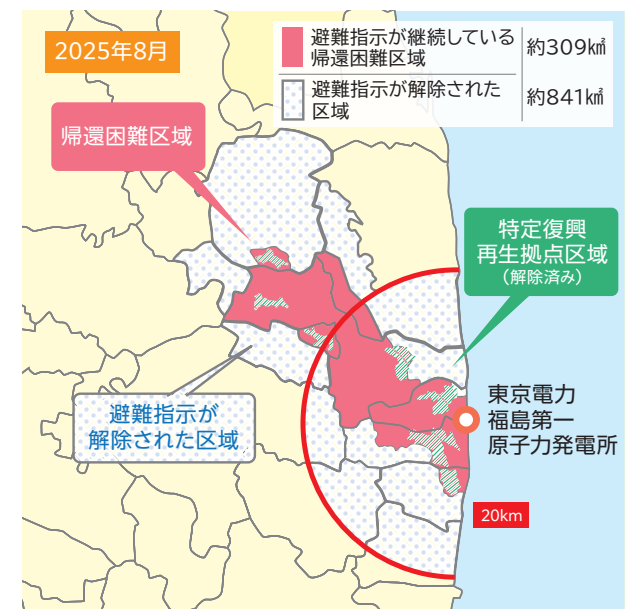
2012年
5月

164,865人

2025年
8月

23,987人

【出典】福島県災害対策本部「平成23年東北地方太平洋沖地震による被害状況即報」各月報



2011年4月より2025年8月まで

福島県全体の約**12%**から約**2.2%**に減少



▲住宅の除染(堆積物除去)

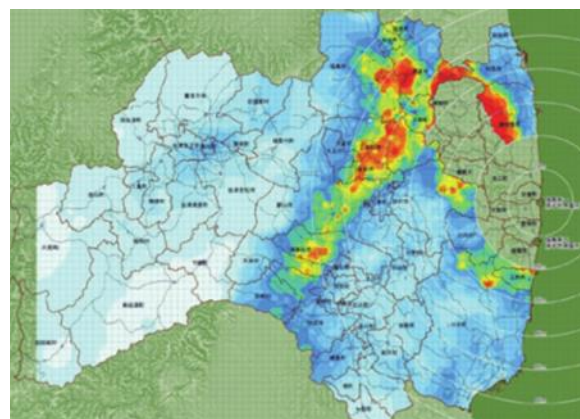


▲農地の除染(深耕)

震災からの環境回復状況

県内の空間線量率は、除染や自然減衰などにより大幅に低減し、現在では世界の主要都市とほぼ同水準となっています。
※これらの除染は、2018年3月までに完了しています。
(帰還困難区域を除く)

福島県内の空間放射線量の推移

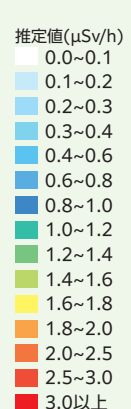


▲ 2011年4月12日~4月16日測定



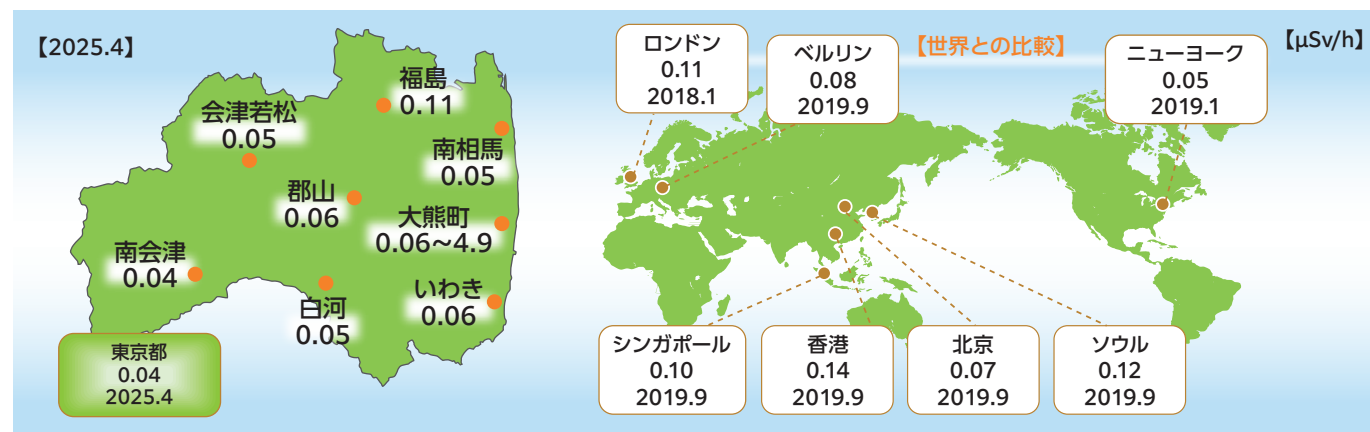
▲ 2024年4月15日~5月14日測定

※帰還困難区域で実施した走行サーベイ(2024年9月18日~10月11日に実施)の測定結果
【出典】復興・再生のあゆみ(第17版)



世界との比較

県内の空間放射線量は、海外主要都市とほぼ同水準(避難指示区域を除く)



【出典】復興・再生のあゆみ(第17版)

野菜・果物、畜産物等の検査結果

2024年4月1日~2025年3月31日

県産農林水産物は出荷前に検査を実施、安全性を確認しています。
基準値を超過した品目は、市町村単位で出荷が制限され、流通しません。

種別	検査件数	基準値超過数
玄米 ※1	201件	0件
野菜・果実 ※2	1,854件	0件
畜産物(原乳・肉類、鶏卵)	1,735件	1件 ※3
栽培山菜・キノコ	591件	0件
水産物(海産物・養殖)	3,277件	0件
野生山菜・キノコ	414件	2件
水産物(川・湖・沼)	127件	0件

※1 玄米については、2019年産米までは県内全域で全量全袋検査を実施していたが、2020年産米より避難指示等のあった市町村を除きモニタリング検査へ移行し、玄米の検査数はモニタリング検査の件数としている。なお、2024年産米は8市町村のみで全量全袋検査が行われているが、基準値超過はない。

※2 野生果実は含まない。

※3 放射性物質が含まれていることを知らずに、廃業した畜産農家から譲渡された稲わらを誤って飼料としたことが要因であり、特異なケースである。

【出典】復興・再生のあゆみ(第17版)

【参考】

食品中の放射線セシウムの基準値 【食品衛生法】(Bq/kg)			
日本	EU	米国	CODEX
100	1,250	1,200	1,000※

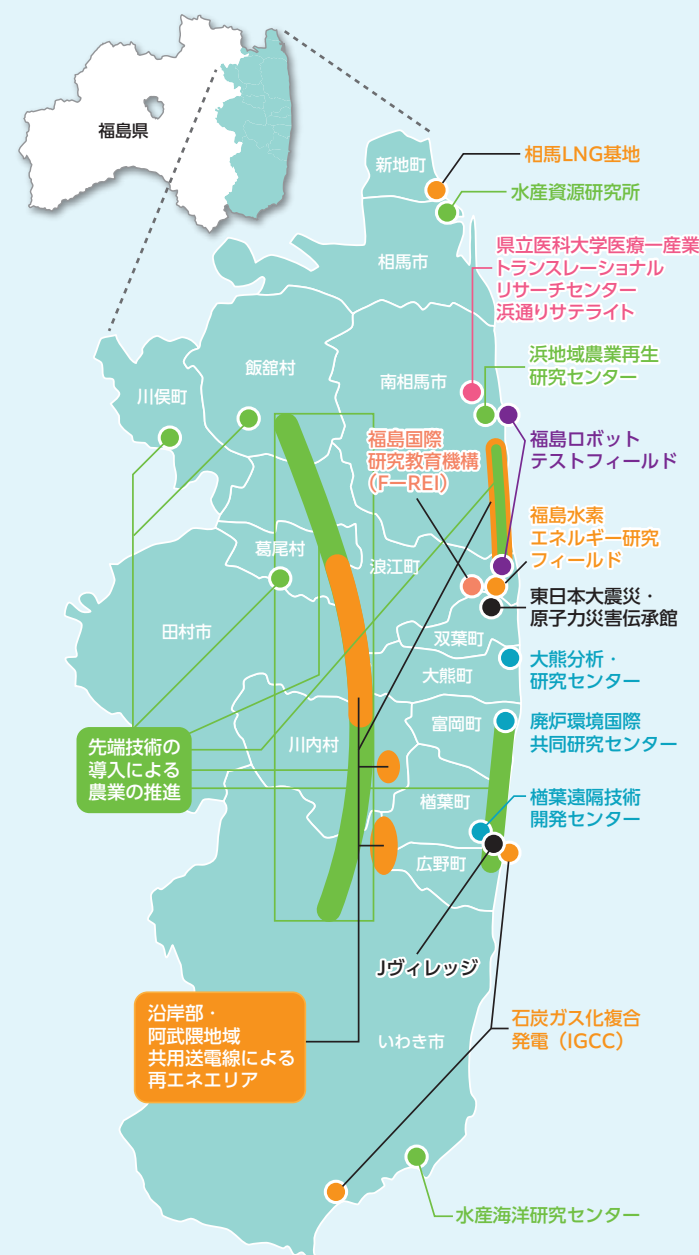
※国際的な食品規格

To the Future Fukushima 福島イノベーション・コースト構想

公式HP



東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。本構想は、「あらゆるチャレンジが可能な地域」、「地域の企業が主役」、「構想を支える人材育成」の3つの柱を軸に、浜通り地域等において、6つの重点分野の具体化を進めるとともに、その実現に向けた産業集積や教育・人材育成、交流人口の拡大、情報発信、生活環境の整備など多岐にわたる取り組みを進めています。



6つの主要プロジェクト

廃炉

国内外の英知を結集し、廃炉を進めるための技術開発に取り組んでいます。



ロボット・ドローン

福島ロボットテストフィールドを中核にロボット産業の集積を目指しています。



エネルギー・環境・リサイクル

先端的な再生可能エネルギー・リサイクル技術の確立へ向けて取り組んでいます。



農林水産業

ICTやロボット技術等を活用して農林水産業の再生を目指しています。



医療関連

技術開発支援を通じて医療関連企業の販路を開拓しています。



航空宇宙

次世代航空モビリティ、ロケットの開発や関連企業の競争力強化に取り組んでいます。



福島国際研究教育機構(F-REI)



F-REIの本施設の整備イメージ

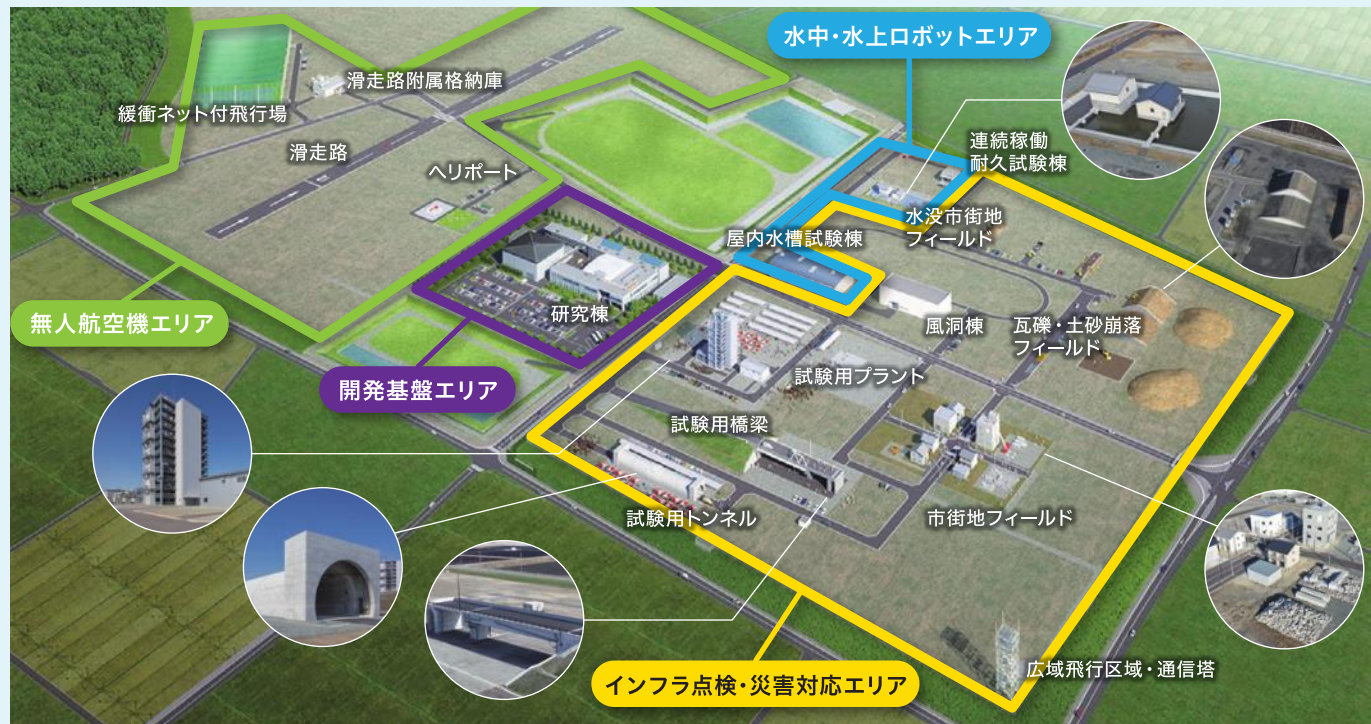
F-REIは、2023年4月に国が浪江町に設立した法人であり、福島をはじめ東北の復興を実現するとともに、日本の科学技術力・産業競争力の強化に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指しています。F-REIは、研究成果から生まれるイノベーションを活かして日本の産業競争力を世界最高水準に引き上げ、国内外に効果を波及させていきます。

ロボット関連産業

福島ロボットテストフィールド

南相馬市・浪江町

物流、インフラ点検、災害対応などのフィールドロボットについて、実証試験・標準規格の策定・製品認証などを行う国内随一のロボット開発拠点。



農林水産業

ICT やロボット技術等を活用した農林水産業の展開や、新たな雇用創出、他地域・他業種からの参入をサポート。

農業の再生を目指す生産体制

水産業における先端技術等の開発・推進

ベルグ福島株式会社

川俣町



接ぎ木育苗技術や植物ワクチン接種技術等をいかした野菜苗の生産・販売を行っています。

株式会社
福島しろはとファーム

檜葉町



大規模なサツマイモ専用貯蔵庫を備えて、安全なサツマイモ苗の育苗、販売を行いサツマイモの産地化を進めています。

農地所有適格法人ちの

浪江町・飯舘村



衛星データの活用やドローンによる直播等、効率よく主食用米や輸出用米、樹脂原料用米を生産しています。

福島県水産海洋研究センター

いわき市



水産業復興・再生に向け、放射能研究棟を備えた福島県の研究施設です。

福島県水産資源研究所

相馬市



沿岸漁業再生に向け、水産種苗の生産・供給及び沿岸魚類資源研究を行う福島県の拠点施設です。

医療関連産業

福島県は、日本有数の医療機器生産県であり、大手医療機器製造企業の生産拠点も数多く立地しております。また、医療機器の開発から事業化までを一体的に支援する国内初の拠点として「ふくしま医療機器開発支援センター」が 2016 年に開所しました。加えて、がんを中心とした創業拠点として 2016 年に開所した「医療一産業トランスレーショナルリサーチセンター」は医療界と産業界の橋渡しを行うことが期待されています。

ふくしま医療機器開発支援センター

郡山市



医療一産業トランスレーショナルリサーチセンター

福島市



エネルギー・環境・リサイクル

福島県では「2040年頃を目途に、県内のエネルギー需要量の100%以上に相当する量のエネルギーを再生可能エネルギーで生み出す」ことを目標に再生可能エネルギーの導入拡大を進めるとともに、拠点整備等を通じて関連産業の育成・集積を図ります。

県内の再生可能エネルギー関連拠点

1 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所

郡山市

国立研究開発法人産業技術総合研究所が、再生可能エネルギーの研究開発拠点を整備。2014年4月1日に開所。スマートシステム研究棟が2016年4月1日に運用開始。



提供：(国研) 産業技術総合研究所

2 土湯温泉16号源泉バイナリー発電所

福島市



提供：(株)元気アップつちゆ

4 グリーン発電会津 木質バイオマス発電所

会津若松市



提供：(株)グリーン発電会津

6 郡山布引高原風力発電所

郡山市



提供：J-POWER / 電源開発(株)

8 ペロブスカイト太陽電池の先行設置

檜葉町・福島市・会津若松市



3 信夫山・遠藤ヶ滝・大玉第一小水力発電所

大玉村

提供：信夫山福島電力(株)



5 阿武隈・沿岸部 共用送電線整備事業

阿武隈山地及び浜通り沿岸部において、共用送電線及び再生可能エネルギー発電施設約600メガワットの導入を支援。2024年7月に共用送電線約86kmが竣工。



提供：福島送電(株)

送電線網運用部分
部分



水素関連エリア

7 福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)

浪江町

2020年3月7日開所。世界有数の再エネ由来(太陽光20MW) 水素製造実証拠点。毎時1,200Nm³(定格)の水素製造を行うことができ、1日当たり燃料電池自動車約560台分の水素を製造可能。



9 燃料電池バス・燃料電池自動車

県庁公用车をはじめ472台の燃料電池自動車が県内で登録済(2025年10月末)。2024年12月には、福島県警に燃料電池パトカーを導入。いわき市内及び福島市～川俣町間で燃料電池バスが営業路線運行中。また、浪江町ではスクールバスが運行中。



福島市

いわき市

東北初

10 水素ステーション

いわき市



郡山市



福島市

浪江町

本宮市

3

4

5

福島市

浪江町

本宮市

3

4

5

11 福島大学 共生システム理工学類附属 水素エネルギー総合研究所

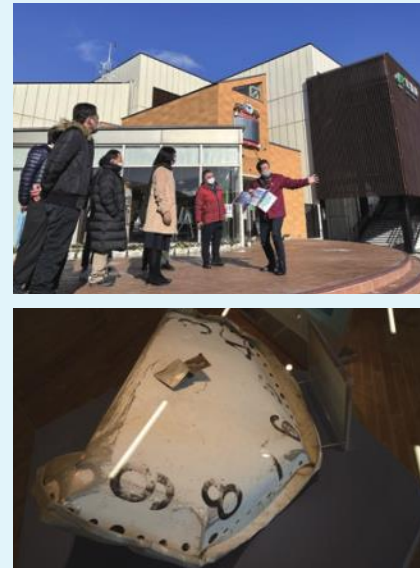
福島市

バイオマス資源に着目した水素製造、貯蔵、利用等に関する研究開発や人材育成を実施。2024年4月1日設置。

ホープツーリズム

世界で類を見ない「複合災害(地震・津波、原子力災害、風評被害)」を経験した唯一の場所、福島県。事実、教訓、復興への挑戦から得た学びを私たちはあえて「震災・防災学習」と呼ぶことはしません。ホープツーリズムは、複合災害の教訓等から「持続可能な社会・地域づくりを探究・創造する」福島オンリーワンの新しいスタディツアーです。

福島を「今」を感じる旅
ホープツーリズム



多彩な発見と 出会いの フィールド



1 東日本大震災・原子力災害伝承館

正にホープツーリズムの学びの導入拠点。館内の映像や展示などの豊富な資料から、震災・原発事故直後から現在までの経過・復興のあゆみの全体像を学ぶことができます。

地震、津波、東京電力福島第一原子力発電所事故という、世界でも類を見ない未曾有の複合災害の記録やそこから得られた教訓、そして復興の歩みを国内外に伝え、さらには将来へ引き継いでいくためにつくられた県立の施設です。福島が経験した原子力災害を伝えること、これまでの復興の過程を収集・保存・研究し、風化させることなく後世に継承し、また世界と共有することを目的としています。

東日本大震災・
原子力災害
伝承館



施設内概要

- プロローグ(導入シアター)**
震災前の地域の暮らし、発生後の状況や取り組みを7面スクリーンの映像で紹介。
- ④長期化する原子力災害の影響**
原子力災害の長期化による影響と対応について資料や解説等から学べる場です。
- ③県民の想い**
未曾有の災害を経験した県民の想いを、証言や思い出の品などの展示で発信。
- ⑤復興への挑戦**
困難を乗り越え復興に挑戦する福島県姿を紹介。
- ①災害の始まり**
震災事故前・事故発生時・事故直後の経過を時系列でたどります。
- ②原子力発電所事故直後の対応**
原子力発電所事故発生直後の状況やその特殊性を、証言などで振り返ります。



▲自然に溶け込むような外観。屋上からは太平洋と津波被災地を一望できる。



▲津波被害を受けた消防車を展示。



▲事故後の東京電力福島第一原子力発電所のジオラマ。

2 震災遺構 浪江町立 請戸小学校



津波の脅威を後世に伝える県内唯一の震災遺構です。海岸から300mに立地。職員の迅速な判断と児童の協力により、奇跡的に全員が無事避難することができました。今なお被災当時の様子がほぼそのまま残っています。



▲震災時の写真

請戸小学校
ホームページ



4 とみおかアーカイブ・ミュージアム



町の特徴・成立を伝える地域資料と東日本大震災・原発事故で生じた震災遺産を展示。避難誘導中の2名の警察官が犠牲になった被災パトカー等が展示されています。

とみおか
アーカイブ・
ミュージアム
ホームページ



6 福島県環境創造センター 交流棟 コミュタン福島

施設内概要

体験型の展示をとおして、ふくしまの環境の回復と創造への意識を深め、ふくしまの現状や放射線・環境について、楽しく学べる施設です。

コミュタン福島
ホームページ



- ① ふくしまの3.11から**
復興へ向かうふくしまのあゆみを知ろう
- ② 未来創造エリア**
ふくしまの今を知り、ふくしまの未来をともに描こう
- ③ 環境回復エリア**
放射線や環境創造センターの研究について学ぼう
- ④ 環境創造エリア**
原子力に代わる新しいエネルギーや、自然環境について学ぼう
- ⑤ 環境創造シアター**
大迫力の映像と音響空間! 全球型ドームシアター
- ⑥ 触れる地球**
宇宙から見たリアルタイムの地球の姿を体感

3 Jヴィレッジ



ナショナルトレーニングセンター Jヴィレッジ

サッカーの聖地Jヴィレッジは、2011年3月11日の東日本大震災に伴い原発事故収束の拠点となり、営業を休止していましたが、2019年にふくしま復興のシンボルとして全面再開を果たしました。2024年からは、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)男子サッカー競技の固定開催メイン会場として、福島県の復興への火を灯しています。



Jヴィレッジ
ホームページ

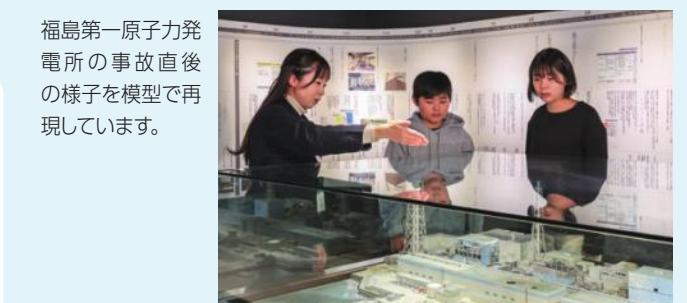


5 いわき震災伝承みらい館



いわき市の震災体験を将来にわたり発信する施設です。災害に対する危機意識や防災意識の向上なども目的としています。

いわき
震災伝承
みらい館
ホームページ



日本に2つしかない360°ドームシアター「環境創造シアター」では、大迫力の映像と音響空間に包まれ、臨場感を味わえます。